

《第51号》 *** EndNote Web®について ***

EndNote® Webは文献管理ソフトEndNote®のWeb版で、Web of Knowledge®のプラットフォームに搭載されています。ユーザ登録すれば、Webブラウザを使って学外でもアクセスでき、既にデスクトップ版をお持ちの方は、双方のデータを送受することも可能です。

EndNote®Web版は、デスクトップ版同様、データベースや電子ジャーナルサイトの検索結果を取りこんで、集めた文献データをわかりやすく整理したり、投稿のための引用文献リストを作成したりできるソフトウェアです。文献を簡単なグループに分けたり、引用文献を投稿規定に合わせて自動フォーマットで整形したりといった文献の管理・運用に役立ちます。作成した文献リストをWord文書に挿入する、ExcelやWord文書中の文献リストを取り込むなど他のソフトウェアとの連携もスムーズです。

Web版の一番の特徴は、作成した文献グループを他のユーザーと共有できることです。共有相手を設定することにより、共同研究者同士での文献データの共有や編集が可能になります。

初めて使う場合は、「登録」画面でユーザ登録する必要があります。既にResearcherIDなどISI Web of Knowledge®プラットフォームのアカウントをお持ちの方は、同じIDでサインインできます。既にEndNote®デスクトップ版をご利用の方は、その画面から登録することもできます。

詳細については、Thomson Reutersのサイト

(<http://science.thomsonreuters.jp/products/enw/support/>)でクイックリファレンスカードやインターネット講習会がご覧いただけます。図書館でも、簡単な使い方を説明いたしますので、是非一度お試しください。

*** 図書館トリビア ***

EndNote Web®と同じアカウントで利用できるWeb of Knowledge®上のサービスにResearcher IDがあります。個々の研究者に固有のIDを割り当てることで、著者情報を正確に特定できるIndexを備えており、登録することで、自分専用のURLを取得し、研究業績や論文を公開(非公開も可)することができます。共通の関心分野を持つ研究者を探して共同研究のコンタクトを取るなど、研究を可視化し、効率化を図るためのグローバルな研究コミュニティとして注目されています。

メールマガジンに関するご意見・ご質問は、図書館 tosho@j.iwate-med.ac.jp まで。

〈編集・発行〉 岩手医科大学附属図書館